

講演と対談

神宮 式年遷宮への 道

～前回遷宮での奉仕の体験をふまえて～

令和 7 年 (2025)

6 月 4 日 (水)

13 時 30 分～15 時

*開場 13 時

ひと・まちテラス

1 階ロビー・ステージ

岐阜県中津川市新町2-34

入場無料・事前申込不要

講 演：田浦雅徳

(皇學館大学名誉教授)

対談者：安藤嘉之

(ひと・まちテラス所長、関記念財団理事長)

主催：公益財団法人 関記念財団

後援：中津川市・中津川市教育委員会





しきねんせんぐう
令和 7 年（2025）、いよいよ第 63 回神宮式年遷宮がスタートします。
ごしんたい みひしろぎ き
御神体を納める御樋代木を伐り出すおまつりである、御杣始が木曾で行
われます。ここ岐阜県中津川市では、「裏木曾御用材伐採式」が、6 月
5 日（木曜日）に中津川市加子母地区にて執り行われ、御神木が 6 月 7
日まで市内各所に立ち寄り、三重県の伊勢神宮へと運ばれます。

せんぎょ
令和 15 年（2033）に執り行われる「遷御の儀」までどのようにして
神宮式年遷宮が進められるのか、遷宮の意義とともに「遷宮への道」を
皆さんと一緒にたどりましょう。前回の遷宮で奉仕した貴重な秘められ
た体験もご紹介します。



また近世以来、中津川と伊勢とは御神木を縁に深い結びつきがありま
した。このたび神坂で発見された史料なども一部ご紹介します。

（田浦 雅徳）



講 演：田浦 雅徳（皇學館大学名誉教授）

日本近代史、特に昭和戦前期の政治外交史が専門。『伊勢市史』近代編の編集・
執筆にあたり、遷宮史上最大の盛儀と称された第 58 回神宮式年遷宮（昭和 4
年）についても詳述。

前回の第 62 回式年遷宮では、臨時出仕として奉仕し、貴重な体験を持つ。

対談者：安藤 嘉之（ひと・まちテラス所長、関記念財団理事長）



伊勢
御遷材御内見
并御伐出之節
書付箱

令和 7 年（2025）、神坂で発見
された御神木関係史料が入って
いた木箱。箱内には安政 6 年
（1859）の墨書がある。
（個人蔵・非公開）



臨時出仕の装束
（平成 25 年〈2013〉撮影）

ひと・まちテラス

岐阜県中津川市新町 2-34

●JR 中津川駅 徒歩 7 分

●北恵那バス淀川バス停徒歩 3 分

お問合せ 公益財団法人 関記念財団

Tel/Fax : 0573-67-7272 <https://www.sekizaidan.sakura.ne.jp>
(火・木)



関記念財団 HP